

# 未来へ

 紀の川市議会だより  
2026. 3. 1 発行 NO.76

紀の川市議会の第4回定例会と活動をわかりやすくお伝えします。



## 天までとどけ!!

### ●CONTENTS●

新議会がスタートしました	P2
令和7年第4回定例会	P6
一般質問	P8

# 新議会がスタートしました。

令和7年11月16日の市議会議員選挙により、新議員が決まりました。

【任期・令和7年12月11日～令和11年12月10日】

選挙後初となる令和7年第4回定例会が12月11日から開かれ、新しい議会構成が決まりました。

## はじめに

市民の皆さまには、日ごろより市議会に対し多大なるご理解とご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

このたび、私たちは紀の川市議会議長並びに副議長に選任されました。その職責の重さに改めて身を引き締め、市政発展のために全力を尽くす所存です。

議会の使命は、市民の負託に応え、公正な議論を通じて最善の政策を導き出すことにあります。私たちは、議会のチェック機能を十分に果たし、市当局との建設的な緊張関係を保ちながら、より良い議会運営の実現に努めてまいります。

皆さまが日々暮らしの中で感じていることや、未来への願いをしっかりと受け止め、市政に反映させることが議会の原点です。皆さまがこのまちに寄せる期待や思いに真摯に応え、市民生活の向上と本市のさらなる発展に向け、誠心誠意取り組んでまいります。

今後ともより一層のご支援を賜りますようお願い申し上げ、就任のご挨拶いたします。



議長 杉原 勲 副議長 上野 宗彦

## 私たちが新しい市民の代表です



# 委員会の構成も決まりました。

◎・・・委員長 ○・・・副委員長

市議会には、市の問題を議員全員で話し合う場合と、さらに専門的に調査し、話し合う4つの常任委員会があります。このほか、それぞれの常任委員会、その他の委員会を紹介します。

## 議会運営委員会

- ◎榎本 喜之 ○大谷 さつき
- 大田 裕之 木村 芳友
- 石井 仁 阪中 晃
- 上野 宗彦

## 予算決算常任委員会

- ◎上野 宗彦 ○榎本 喜之

正副委員長を除く全議員

## 議会広報特別委員会

- ◎上野 宗彦 ○おん地 ゆづ子
- 上岡 一夫 高橋 千代子
- 上田 礼子 芝田 修
- 中村 まき 森田 幾久
- 榎本 喜之

## 総務文教常任委員会

財政、財産管理、地域創生、公共交通、税、防災、コミュニティ、学校教育、生涯学習などに関することを審査します。

- (後列右より) (前列右より)
- 西岡 宣博 おん地 ゆづ子
- 森田 幾久 ○大谷 さつき
- 石井 仁 ◎大田 裕之
- 上田 礼子



## 厚生常任委員会

住民登録、医療、保険、健康推進、福祉、環境衛生、ごみ処理などに関することを審査します。

- (後列右より) (前列右より)
- 杉原 勲 高橋 千代子
- 榎本 喜之 ○中村 まき
- 松本 敦 ◎船木 孝明
- 村垣 正造



## 産業建設常任委員会

都市計画、道路、河川、上下水道、商工、観光、農林業、農業委員会などに関することを審査します。

- (後列右より) (前列右より)
- 堂脇 光弘 ○芝田 修
- 阪中 晃 ◎木村 芳友
- 上野 宗彦 上岡 一夫



# 議員の紹介

(五十音順)

- ①所属会派
- ②当選回数
- ③住所
- ④抱負（一言）



上野 宗彦

- ①清流会
- ②3回
- ③尾崎 88-1
- ④紀の川市の発展のため、子どもたちの未来のため、全力投球で頑張ります。



上田 礼子

- ①わかばクラブ
- ②1回
- ③貴志川町長山 39
- ④何事にもチャレンジしながら、市政に尽力つくして参ります。



上岡 一夫

- ①わかばクラブ
- ②1回
- ③北涌 423
- ④紀の川市の魅力を最大限に生かし将来の為の活力ある町作りに全力で取り組みます。



石井 仁

- ①日本共産党
- ②6回
- ③西大井 558-8
- ④市民の暮らしを守る市政に。



おん地 ゆう子

- ①爽り会（代表）
- ②1回
- ③貴志川町上野山
- ④爽りあふれる紀の川市へ。誠実に、子育て世代の声を市政へ届けます！



大谷 さつき

- ①公明党（代表）
- ②4回
- ③貴志川町神戸
- ④一人ひとりの声に耳を傾け、魅力溢れる街を未来につないでまいります。



大田 裕之

- ①わかばクラブ
- ②2回
- ③貴志川町上野山 155-6
- ④若い感性と責任感で、選ばれるまちづくりを前へ進めます。



榎本 喜之

- ①わかばクラブ
- ②5回
- ③高野 415
- ④一步一步、元気で活力あるまち紀の川市をめざします。



杉原 勲

- ①わかばクラブ
- ②6回
- ③東野 400
- ④皆様が行政に望むご意見を届け叶えられるように全力で取り組みます。



芝田 修

- ①公明党
- ②1回
- ③東国分 407-21
- ④魅力一杯の紀の川市を次の世代に繋いでいけるよう誠実第一で頑張ります。



阪中 晃

- ①実り会
- ②5回
- ③桃山町最上 224-1
- ④わくわくする紀の川市をめざして。



木村 芳友

- ①わかばクラブ(代表)
- ②2回
- ③平野 178
- ④若者から高齢者までイキイキできる地域づくり。



西岡 宣博

- ①わかばクラブ
- ②1回
- ③貴志川町神戸 802(事務所)
- ④アップグレード紀の川市。歴史を学び活かし、未来を市民の皆様と共に拓いていきます。



中村 まき

- ①日本共産党(代表)
- ②4回
- ③上野 129-13
- ④市民の声を聞き、誰もが暮らしやすい紀の川市にするためにがんばります。



堂脇 光弘

- ①清流会
- ②6回
- ③平野 2075-1
- ④公平で公正な行政ができるように、努力します。がんばります。



高橋千代子

- ①公明党
- ②1回
- ③打田 1263
- ④お一人おひとりの声を市政へつなげ、笑顔と優しさあふれる希望の紀の川市へ。



森田 幾久

- ①清流会
- ②5回
- ③長田中 129-19
- ④「一から出直します」をスローガンに、紀の川市のために頑張ります。



村垣 正造

- ①清流会(代表)
- ②6回
- ③桃山町元 225-3
- ④市民の皆様のを市政に反映させ、さらなる議会改革を進めます。



松本 敦

- ①わかばクラブ
- ②1回
- ③嶋 261
- ④福祉は人、人は心。市政は市民のためにあり。市民の心に寄り添いともに歩みます。



船木 孝明

- ①わかばクラブ
- ②4回
- ③桃山町元 156-1
- ④住みよい紀の川市にする為、みんなの声を市政に取り込んでいく。

# ● 第4回定例会 ●

## こんなことが決まりました

定例会 会期 37日間 12月11日～1月16日  
・ 一般質問 9名が登壇

定例会の議案は

### 市長提出議案

- ・ 人事案件：……………5件
- ・ 条例の制定・改正：……………4件
- ・ 令和7年度補正予算：……………8件
- ・ その他：……………5件

1件に  
注目!

※議会だよりは、主な議案を抜粋して掲載しておりますので、その他の議案や結果につきましては、紀の川市議会ホームページをご覧ください。議会事務局へお問い合わせください。

(議案第107号) 令和7年度紀の川市一般会計補正予算(第7号)について

## ひとり 1万2千円!

### ◎物価高騰対応生活支援給付金給付事業

(7億2600万2千円)

エネルギー・食料品価格などの物価高騰の影響を受けている住民の家計を応援するため、1人につき1万2千円を給付します。(基準日 令和7年12月1日)

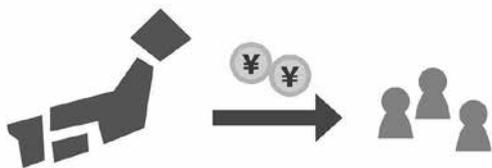
こんな質問が出ました

Q 給付までのスケジュールは。

A 3月下旬頃、「支給のお知らせ」・「確認書」を送付します。□座の確認が取れ次第、4月以降、順次世帯主に給付します。

Q 基準日以降に亡くなられた方の分や一人暮らしで長期入院されている方への対応は。

A 基準日に住民基本台帳に記録があれば、その方の分も世帯主の□座に給付されます。長期入院中の一人暮らしの方には勸奨通知を送付するなど個別対応します。



# 一般会計補正予算に対する 討 論



反対の  
主な理由

今回の債務負担行為に対する説明では、桃源郷運動公園再整備後の運営委託料を含め、総事業費が見通せていないこと、設計・施工・運営まで一括発注するDBO方式は近隣自治体での実績からみても参加業者が少ないため、入札方法の見直しが必要ではないか、サッカーパーク案・陸上競技場廃止に市民合意はあるのかなど時間をかけて検討・協議する必要がある。

過疎債の活用と説明があったが、過疎債の本来の目的である住民の流出を防ぐ意味の予算活用とは思えない。



賛成の  
主な理由

今回の債務負担行為は、老朽化が進む施設について、測量や専門的助言を通じて、整備内容や実施手法、費用構造など、議会が判断するために必要な材料を整えるための準備段階の措置である。

陸上競技の環境整備は、より真摯に向き合うべき重要な課題である。

また、基本計画で示されたサッカーパーク案についても、議会がこの段階で承認したのではなく、今後の議論と市民への説明を経て、是非を判断すべきものである。

議案に対する議員の賛否一覧（全22議案中賛否が分かれたものを掲載しています）

案 件 名	結果	上岡	西岡	高橋	おん地	上田	松本	芝田	大田	木村	石井	船木	大谷	中村	森田	阪中	榎本	村垣	堂脇	上野	杉原	
		一夫	宣博	千代子	ゆづ子	礼子	敦	修	裕之	芳友	仁	孝明	さつき	まき	幾久	晃	喜之	正造	光弘	宗彦	勲	
		(わ)	(わ)	(公)	(実)	(わ)	(わ)	(公)	(わ)	(わ)	(共)	(わ)	(公)	(共)	(清)	(実)	(わ)	(清)	(清)	(清)	(清)	(わ)
議案第95号 令和7年度紀の川市一般会計補正予算（第6号）について	原案可決	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	—

【○…賛成 ×…反対 —…議長 欠…欠席 退…退席】

※ 議長は採決に加わることはできません。ただし、賛否同数の場合は、議案の可決・否決を決めることができる「裁決権」があります。

※ (わ)…わかばクラブ (清)…清流会 (公)…公明党 (共)…日本共産党 (実)…実り会

## 決算の不認定を受け

## 市が措置内容を発表

令和7年第3回定例会において、議案第59号「令和6年度紀の川市一般会計歳入歳出決算の認定について」を賛成少数で不認定としていました。不認定とした主な理由は「行政秘書事業」の広域活動等支援補助金の部分でした。（詳細は紀の川市議会だより No.75 をご覧ください。）（令和7年9月30日）

それに対して市から措置内容を議会に対して報告がありました。また、市民に対してはホームページなどで公表しました。（令和7年12月1日）



市 HP 参照



# いっぱん質問



一般質問とは、議員が市民の代表として、市の行政全般に対し、事業の執行状況や政策方針などについて質問することで、政策の見直しや提言なども行います。

木村 芳友 議員（わかばクラブ）  
◎福祉王国の確立を求めて

榎本 喜之 議員（わかばクラブ）  
◎持続可能な農業のために

中村 まき 議員（日本共産党）  
◎投票率向上のための工夫を

おん地 ゆう子 議員（実り会）  
◎暑い夏も元気にあそべる屋内公園設置に向けて  
○投票率UPをめざし市民の身近になる選挙を

森田 幾久 議員（清流会）  
◎市内公共交通機関の現状と利便性向上及び利用促進に向けた市の方策

芝田 修 議員（公明党）  
○特殊詐欺対策について  
◎紀の川市地域公共交通計画について

大田 裕之 議員（わかばクラブ）  
◎ふるさと納税の現状・課題と今後の戦略について

石井 仁 議員（日本共産党）  
◎物価高から市民のくらしを守るために  
○国民健康保険事業における高額療養費の算定誤りはなぜ起きたのか

高橋 千代子 議員（公明党）  
◎買い物弱者対策と地域活性化に向けた新たな取り組み

※ ◎の質問の概要を掲載しています。

一般質問の内容については、要旨のみ掲載していますが、二次元コードから録画配信がご覧いただけます。なお、原稿については、各質問者が投稿したものであり、文責は質問者にあります。くわしい内容を知りたい方は、会議録の閲覧ができますので議会事務局議事調査課までお問い合わせください。(TEL 0736-77-2511)

## A-1を福祉部門に導入し、 目指せ市民サービスの向上を



木村 芳友

**Q** 福祉事業にA-1を導入する考えは。

**A** A-1の導入については、今後、生産年齢人口の減少に伴い職員の数も減少していくと考えられるなかで、サービスの質を維持していくためには、A-1に任せられる部分は任せていくのが必然のことであると考える。

**Q** A-1導入のメリットをどのように考えているか。

**A** 要介護認定調査の現場では、認定調査票の入力にA-1チェックを用いることで、調査票の入力間違いの防止や認定調査員ごとの特記事項の記載のばらつきを抑える効果が得られており、定められた業務においてはその効果は大きいと考える。

**Q** A-1導入を円滑に進めるための方法をどのように考えているか。

**A** まずは、一部の担当部署だけではなく庁内全体での導入に向けた必要性、費用対効果などの検証が



必要と考える。また、A-1に精通した人材を確保するなどの対応も必要になると思われる。現時点での福祉部門向けのA-1導入には慎重な対応が必要であり、今後の開発状況を見極めながら検討していく。

## 移動期日前投票所で 投票率向上を



中村 まき

**Q** 低い傾向にある投票率を向上させるための取り組みが必要と考えるが、これまでの投票率についてどのように捉えているのか。

**A** 投票率は決して高い水準ではないと認識している。  
天候や社会情勢に左右されることも考えられるが、市民の関心が高い選挙では、投票率は上がると考えられる。いかに選挙に関心を持ってもらうかが投票率向上につながるかと考えるので、効果的な取り組みを検討し実施していく必要がある。

**Q** 以前にも提案したが、若い世代にも立会人をしてもらうには。

**A** 若い方の立会人は、本年度から取り組みを始めており、今後も学生など若い方の立会人の選任について拡充していきたい。

**Q** 高校・スーパー・デイサービスなどへ移動期日前投票所が出向き、向上のために取り組んでは。

**A** 高齢者や身体が不自由で移動が

難しい方への負担軽減策として、また若者に投票しやすい環境を提供する観点から高校やスーパーなどへの移動期日前投票所は、効果的な取り組みであると考えている。  
一方で通信手段の安定的確保や費用面、人員確保、実施場所の選定、関係者との協議も必要となるので、十分研究・協議を行ったうえで進めていきたい。



## 特急粉河熊取バスの延伸で 市内の地域交流が深まる



森田 幾久

**Q** 粉河熊取バスは、現在、JR阪和線熊取駅から犬鳴山を越えて、パナソニック前を通過して、JR和歌山線粉河駅まで特急バスとして運行している。市役所本庁舎前を經由するよう変更して、JR和歌山線粉河駅から桃山支所、貴志川支所を經由し、和歌山電鐵貴志川線の貴志駅まで延伸しては。

また、バス停のある市役所本庁舎、粉河駅前駐車場、桃山支所、貴志川支所で無償のパークアンドライド（駐車場、駐輪場）を検討している。

**A** 路線を延伸してつなげることは興味深い。まずは、デマンド乗合交通の利便性を活かしつつ、地域巡回バスの抜本的な再編を考えるなかで、運行事業者と相談していく。パークアンドライドについては、一定の効果は見込めるが、近隣の駐車場との兼合もあるため、関係部署・関係機関とも相談していく。

**Q** 高校生の通学、中学生の部活動

や地域移行型のクラブチームへの移動手段として、また、市役所への通勤手段としても活用できるのでは。さらに大阪方面への専門学校や大学へ自宅から通学ができて選択肢の幅が広がると考えるが。

**A** 高校受験の選択肢の幅が広がるのはもちろん、大阪への移動が直接的になることから、ショッピングモールなどへの移動も考えられる。早急に運行事業者と相談していく。



通勤通学に活用されるバス

## ふるさと納税の現状と課題、 市民への周知は



大田 裕之

**Q** 本市には全国に誇る多様なフルーツがあるにもかかわらず、それらが十分に返礼品として認知されていない。

返礼品ラインナップの偏りに対する認識と、多様化への取り組みは。

**A** 一番人気である「桃」の寄付者を確保し、「柿・いちご・キウイ・はつさく」などの他のフルーツや農産物への波及を狙い、収穫時期の異なる品目を組み合わせた定期便や食べ比べの返礼品を充実させる取り組みを続けていく。

特産品を堪能いただくことを目標に、新たな事業者の参入や魅力ある返礼品の開発を通じて多様化をはかり、「応援したいまち」として選ばれ続けることを目指したい。

**Q** ふるさと納税の活用状況を市民にしっかりと伝えることは、行政への信頼を育むことにもつながる。分かりやすい情報公開をどのように進めていくのか、寄付額・返礼品・使道などの可視化は。



**A** 情報公開を強化すること、寄付状況を可視化することは、市民がふるさと納税の仕組みや成果を正しく理解し、また地域活性化としての役割を共有するうえで、重要であると認識している。

今後はホームページに加えて広報紙の活用も進め、ふるさと納税が地域にもたらす具体的な成果や効果をわかりやすく伝え、透明性をさらに高めることで、理解促進と地域への愛着形成へつなげたい。

## 山間部に、待ち望む コンビニ出店を



高橋 千代子

**Q** 官民一体の事業として、市が市有地を貸し出し、福岡県八女市が山間部へ出店した事例のような、コンビニを出店しては。

**A** 出店に関しては、民間事業者主導で設置するのが基本と考えるが、官民一体の事業として検討する際には、住民の声を通じて、対象地域の具体的なニーズを十分に把握することが重要であり、地域の課題や住民ニーズと民間事業者の意向や事業計画が一致するかどうか、慎重な調査検討が必要である。本市が策定している民間提案制度を活用すれば可能ではあるが、地域が期待する提案が得られるとは限らず、実現は容易ではない。

**Q** ひとつの試みとして、人の往来が増す「鞍刈地区複合施設」への出店は。

**A** この複合施設は地域の防災拠点であるため、救援物資や防災資機材の荷受けや引き渡し場所である。また、駐車場で車中泊しながら避難される方も想定されているから、



福岡県八女市星野村のコンビニ

敷地面積を減らして、コンビニを誘致することは困難である。

**Q** 紀の川市が誕生して二十周年。山間地域へのコンビニ出店について、夢と希望を与える新たな取り組みに挑戦しては。

**A** 販わいを創出するための施策は、その都度実施していく。今後は研究を重ね、官民連携による実現可能性を見極めていく。

## 持続可能な農地のために



榎本 喜之

**Q** 農地は先祖からの財産だったが後継者が無くても管理せねばならないし、水費も必要で今や負債だという声がある。耕作しやすい農地にすることで持続可能な農地になるのでは。農地整備の状況は。

**A** 農地整備につながる取り組みとして、「中山間地域等直接支払制度」や「多面的機能支払交付金」を活用し、地域の共同活動により農地の保全管理や農道・水路の補修などを行っている。

ほ場整備は昭和53年完成の貴志川町長山の弁時地区から始まり下丹生谷地区まで11地区で実施しており、現在貴志川町尼寺地区で24ヘクタールを整備中である。

**AQ** 課題、問題となっているのは。

ほ場整備事業では、現状で十分で不便を感じていない方や、大きな変化を望まない方、整備期間中の収入への懸念や土地への思い入れもあり、ほ場整備したくないといった意見も多くある。地域全体の合意形成が必要であること、関



係する権利者の方々の同意や調整が思うように進まないなど、メリットは理解しつつも実現に至ることが難しいケースも多くある。

**Q** 後にやって良かったと言っても進められるように、多少強引にでも進めよう。

**A** 合意形成を前提に進めながら可能なところから粘り強く誠実に進めていく。

## 暑い夏でも元気に遊べる 屋内施設の設置にむけて



おん地 ゆう子

**Q** 現在、市内にある都市公園は、13カ所。

遊具の数が少ない、ボールが使えないなど子どもたちが楽しめる公園は少ないと感じる。特に、猛暑の夏は、外で遊ぶのは、命の危険にもつながる。

12月に開かれた中学生の「ごども未来会議」の中でも、遊び場がほしいという声が多かった。

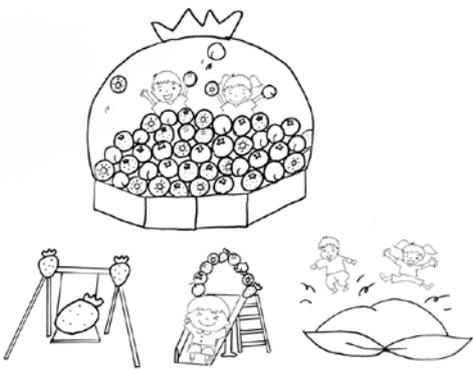
屋内施設の設置に向けて、市の考えは。

**A** 本市でも実現すべきだと認識している。

しかし、本市の財政状況をみると、新たな施設の整備には、慎重な検討が必要。

廃校後の校舎など市有財産の有効活用や補助制度で国や県からの補助金を最大限活用し、今後の施策展開として最善の策を探りたい。重要な取り組みであると考え、慎重に、かつ前向きに検討していきたい。

**Q** 例えば、特産のフルーツをテーマにするなど「紀の川市らしさ」



フルーツテーマの施設イメージ

を取り入れ、有料でも、他の町から来たいと思うような魅力ある場所を作っては。

**A** 1日中遊べる場所が、有料でもいいからあればとは思っています。具体的なアイデアはないが、とにかくみんなが楽しめる場所を提供できたらと思う。

## デマンド乗合交通の 運行エリアの見直しを



芝田 修

**Q** デマンド型交通の導入に伴い、地域巡回バスの見直しは。

**A** 地域巡回バスの路線の中には、デマンド乗合交通と役割が重複する部分がある。その重複部分については効率化し、バス路線をより広域に周遊するなど、デマンド乗合交通とバス路線の役割を再配置することで、地域公共交通の利便性の向上をはかっていく。

**Q** デマンド乗合交通の3つの運行エリアを将来的に取り払い、市内全域に運行するよう検討する必要があるのでは。

**A** 本市のデマンド乗合交通の運行範囲については、全国で同じような交通サービスを展開している自治体と比較すると、広範囲での展開となっている。本市のデマンド乗合交通のコンセプトとしては、最寄りの買い物施設や鉄道駅、集会施設など、片道10分程度の利用を想定していることから、運行エリアを3つに区切って設定している。目的地がエリアをまたがる場



乗降ポイントを608カ所に拡大

合は乗り継ぎが必要となるが、料金についてはタクシーと比較して低料金に設定している。運行エリアを区切ることで、一人の利用者が長時間占有することがなくなり、当日の30分前から予約できる利便性を高められると考えており、今後の利用実態に応じエリア区分の見直しを検討していく。

デマンド乗合交通だけで地域の移動問題を解決できるものではなく、鉄道、路線バス、タクシーを積極的に活用し持続可能な地域公共交通づくりを進めていく。

## 市独自に物価高対策を



石井 仁

**Q** 物価上昇が続いている。

2020年に10万円で生活できていた水準を維持するには、2025年10月では11万2800円が必要という状況だ。

**A** 物価高が市民に及ぼす影響をどう捉えているか。

物価高の影響は家計をはじめ、主要産業である農業、地元事業者など多面的に広がっており、依然として市民生活は厳しい状況であると考える。

**Q** 物価高が収まるまで、水道基本料金を無料化しては。

**A** 過去にやってきた基本料金の無料化の財源はすべて国の重点支援地方交付金を活用しており、水道事業の財源により継続実施することとは困難である。

**Q** 学校給食費の無償化は、期限を切らずに、延長でもなく、ずっと続けるべきではないか。

**A** 私が市政を担っている間は、無償化は続けていきたい。

**Q** この物価高から市民の生活を守る思い切った施策が必要だと考える。

**A** 国の重点支援地方交付金に加え、市独自に140億円の基金を取り崩して、家計への支援をすべきでは。

**A** 限られた歳入の中では、財政負担を伴う施策を独自に行うにも限界があり、国から交付される経済対策交付金の範囲内で支援策を講じるのが適切である。



## 次回3月定例会

日	月	火	水	木	金	土
					2/27	2/28
					本会議 (開会)	
1	2	3	4	5	6	7
		本会議 (一般質問)	本会議 (一般質問)	本会議 (一般質問・ 質疑・付託)		
8	9	10	11	12	13	14
		予算 小委員会	予算 小委員会	予算 小委員会		
15	16	17	18	19	20	21
	総務文教 分科会・ 総務文教 常任委員会	厚生分科会・ 厚生 常任委員会	産業建設 分科会・ 産業建設 常任委員会			
22	23	24	25	26	27	28
		予算決算 常任委員会			本会議 (閉会)	

※午前9時30分開会予定です。なお、日程は変更することがあります。

## ご意見・ご感想を お聞かせください



紀の川市議会では、議会広報紙「未来へ」を年4回発行しています。議会を身近に感じられる広報紙となるよう、皆様の声をお聞かせください。今後の編集に活かしていきます。

### 回答方法

専用フォームから回答するか、感想などを記入し郵送、メールでご提出ください。



URL : <https://logoform.jp/f/XMJ9t>

専用フォーム

〒649-6492 紀の川市西大井 338 番地  
紀の川市議会広報特別委員会あて  
e-mail : k010200-001@city.kinokawa.lg.jp

## 議会のインターネット配信

本会議の録画映像をインターネットで配信しています。議会ホームページや、二次元コードからぜひご覧ください。



本会議の録画映像はこちらから





那賀地方小学校長距離走大会



紀の川市 消防団出初式



紀の川市 はたちのつどい



子ども未来会議

### 編集後記

少しずつ春の訪れを感じる頃となりました。これからは行楽シーズンが始まり、お出かけが楽しい季節ですね。3月末から4月初旬にかけて、市内各所で桃と桜の花が同時に咲き誇る美しい景色を見ることができ、春ならではの魅力を存分に味わえます。身近な景色を楽しみながらゆつくり散歩してみるのもおすすめです。

さて、本市は2025年に合併20周年を迎え、「笑顔で歩んだ20年、輝く未来へ紀の川市」というキャッチフレーズのもと、大相撲紀の川場所の開催や、記念セレモニーなど20周年を祝う盛大な記念行事が行われました。21年目からも「輝く未来へ」つなげていけるよう、市民の皆さまと一緒に盛り上げていきたいと思っております。

市議会は昨年11月に改選があり、議会広報特別委員会は、新しいメンバー構成で再スタートしました。これからもメンバー一丸となり、市民の皆さまに判りやすく読みやすい議会広報紙づくりに取り組んでいきたいと思っております。

(上野宗彦)

